



DWDM の設定

この章では、次の事項について説明します。

- [DWDM の概要 \(1 ページ\)](#)
- [X2 DWDM トランシーバ周波数の設定 \(1 ページ\)](#)

DWDM の概要

高密度波長分割多重 (DWDM) は、1 つの光ファイバで複数のオプティカル キャリア信号を多重化します。DWDM は、異なる波長を使用してさまざまな信号を伝送します。

DWDM リンクを確立するには、スイッチ間リンク (ISL) の両側を、リンクのそれぞれの端で、DWDM Small Form-Factor Pluggable (SFP) によって接続する必要があります。DWDM リンクを識別するために、Fabric Manager は、ファイバチャネル (FC) ポートでコネクタタイプを検出します。ISL リンクが両端で FC ポートと関連付けられている場合、FC ポートは DWDM SFP を使用してリンクを接続します。

Fabric Manager Server は、DWDM SFP を持つ FC ポート、および FC ポートに関連付けられている ISL を検出します。Fabric Manager Client は、トポロジマップ上に DWDM 属性を持つ ISL を表示します。



-
- (注) Fabric Shortest Path First (FSPF) データベースは、両端で DWDM SFP によって接続されている ISL リンクだけを表示します。
-

X2 DWDM トランシーバ周波数の設定

モジュールの X2 DWDM トランシーバ周波数を設定するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 `switch# config terminal`

コンフィギュレーション モードに入ります。

ステップ 2 switch(config)# **module / transceiver-frequency x2-eth**

リンクが X2 イーサネットとして機能するように設定します。

ステップ 3 switch(config)# **module / transceiver-frequency x2-fc**

リンクが X2 FC として機能するように設定します（デフォルト）。

(注) この機能は、MDS 9134 モジュール以外ではサポートされていません。MDS 9134 モジュールでは、X2 トランシーバ周波数を設定すると、10 ギガビット イーサネット ポートはダウン状態になります。
